

ICM Logger データベース設定の同期

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ロガーの同期](#)

[設定データのエクスポート](#)

[設定データの同期](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントとでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境で、あるロガーからそのペアのロガーへ、ロガー設定データを同期する方法について説明します。

前提条件

要件

Cisco ICM に関する基本的な知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco ICM バージョン 4.6.2 以降に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ロガーの同期

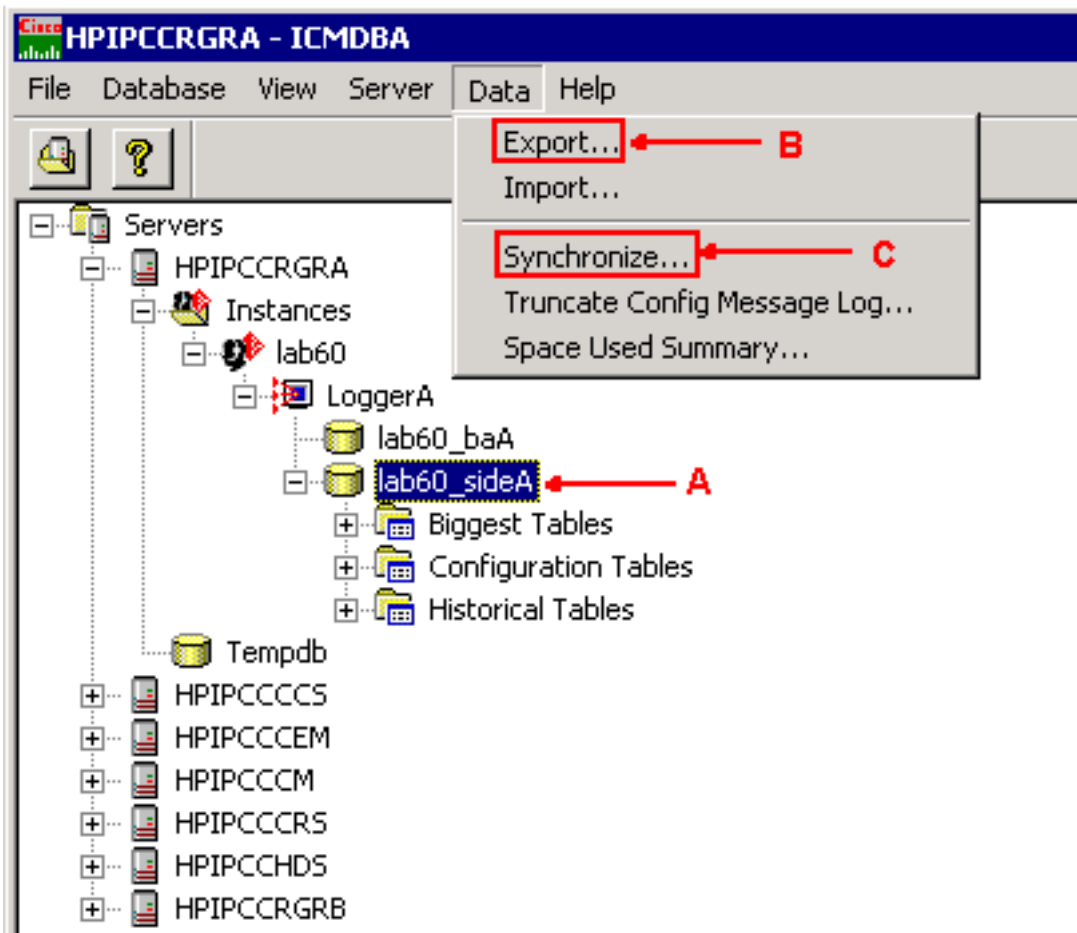
ロガー A とロガー B 間のロガー設定データを同期するには、次の手順を実行します。

1. ロガー A とロガー B 両方の設定データをエクスポートします。
2. ロガー A とロガー B 間のデータベースの設定データを同期します。

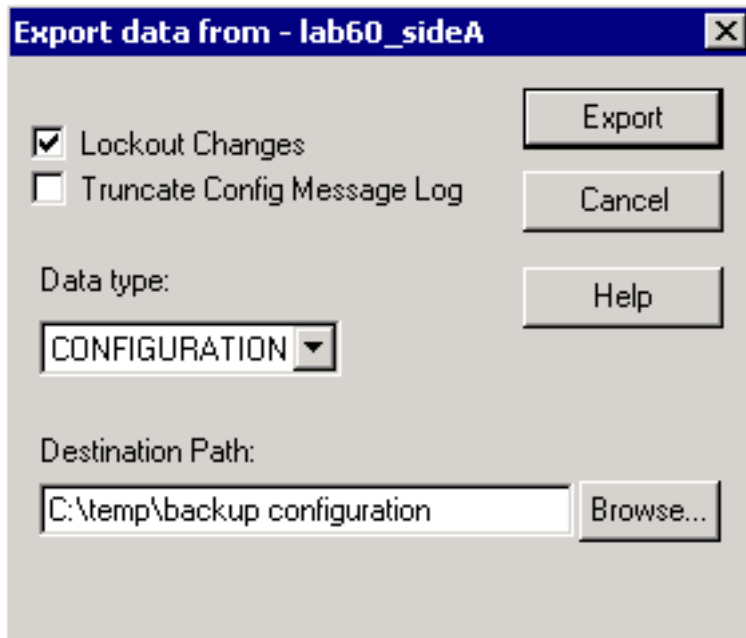
設定データのエクスポート

ロガー A とロガー B 両方の設定データをエクスポートするには、次の手順を実行します。

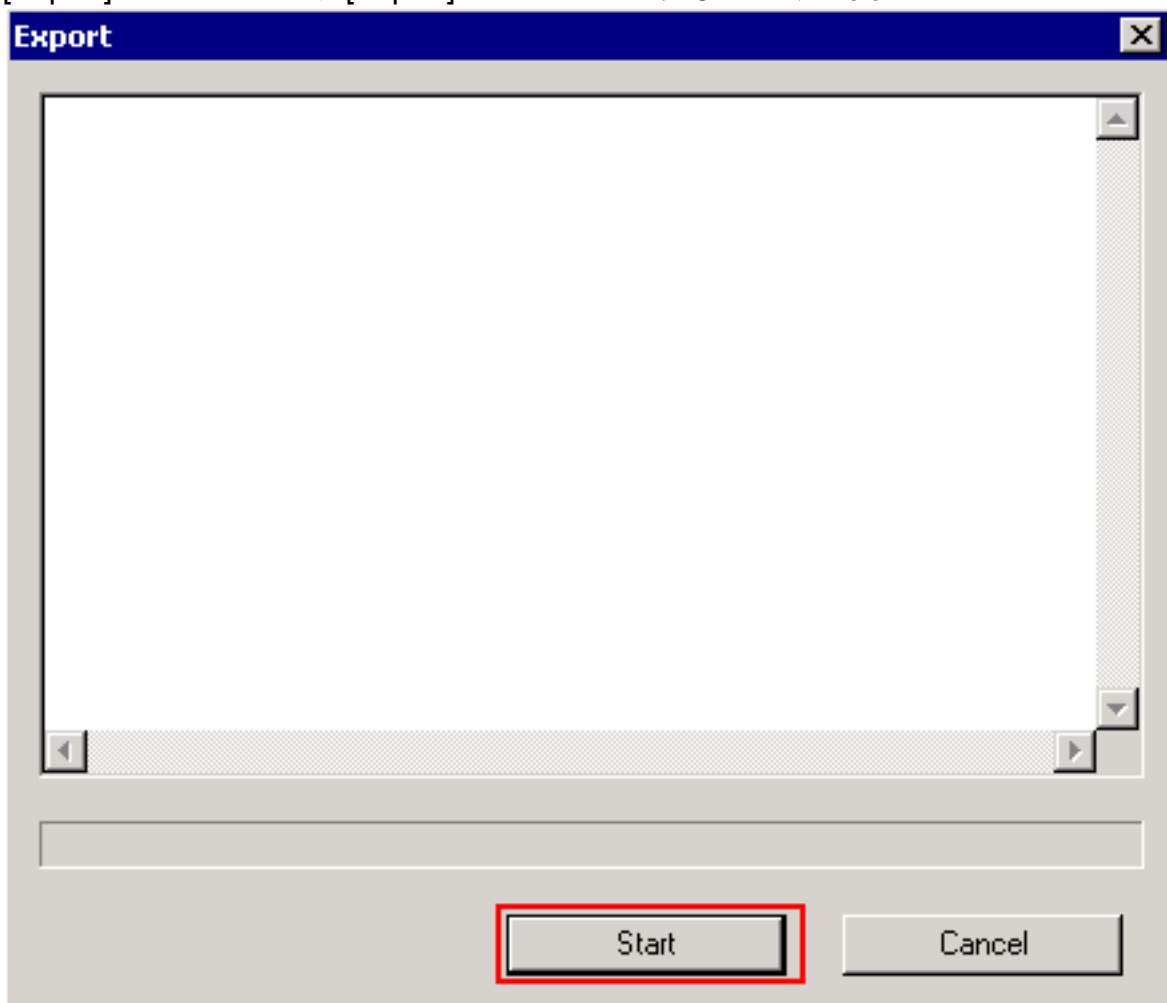
1. ロガー サービスを停止します。
2. ICMDBA を起動するには、[Start] > [Run] を選択し、ICMDBA と入力し、[OK] をクリックします。
3. サーバ、インスタンス、およびノードを指定するには、[図 1](#) の矢印 A で示すように、データベースを選択します。 [図 1 - ICMDBA](#)



4. [図 1](#) の矢印 B で示すように、メニューバーから [Data] > [Export...] を選択します。 [Export] ウィンドウが表示されます。 [図 2 - データのエクスポート](#)



5. [Data Type] ドロップダウン リストから [CONFIGURATION] を選択します。
6. [Browse] ボタンを使用して、データの宛先のパスを表示します。
7. エクスポート処理中にデータベースに変更が行われないよう、[Lockout Changes] チェックボックスをオンにします。
8. [Export] をクリックし、[Export] ウィンドウを表示します。 図 3 – エクスポート



9. 設定データをエクスポートするには、[Start] をクリックします。プロセスが完了すると、アクションが成功したことを示すメッセージが表示されます。完了するには、[OK] をクリックし、[Close] をクリックします。
10. ロガー サービスを起動します。

設定データの同期

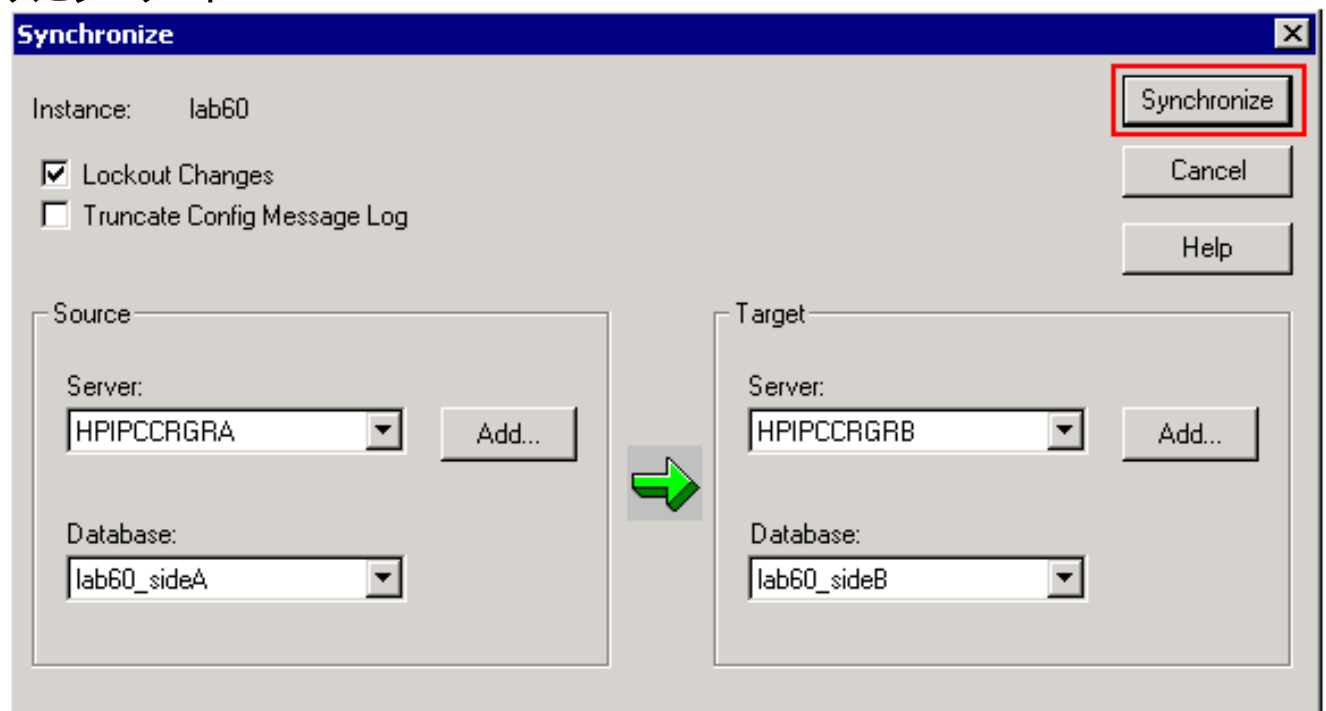
このプロセスは、ロガーからペアのロガーへ有効な設定データをコピーします。ロガー データベースを同期するには、次のいずれかのセクションの手順を実行します。

- [ロガー A からロガー B に設定データをコピーする](#)
- [ロガー B からロガー A に設定データをコピーする](#)

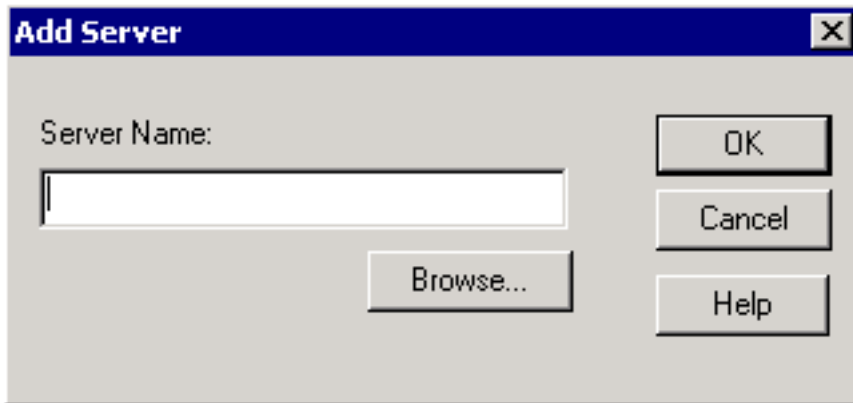
ロガー A からロガー B に設定データをコピーする

ロガー A の設定データが有効で、そのデータをロガー B にコピーするには、次の手順を実行してください。

1. ロガー B のロガー サービスを停止します。
2. ロガー A の ICMDBA を起動し、ロガー A からロガー B に設定データをコピーするには、次の手順を実行します。この場合、ロガー A がソースで、ロガー B がターゲットになります。サーバ、インスタンス、およびノードを指定するには、[図 1](#) の矢印 A で示すように、データベースを選択します。[図 2](#) の矢印 C で示すように、メニューから [Data] > [Synchronize] を選択します。[Synchronize] ウィンドウが表示されます。[図 4 - 同期 - ソースとターゲット](#)

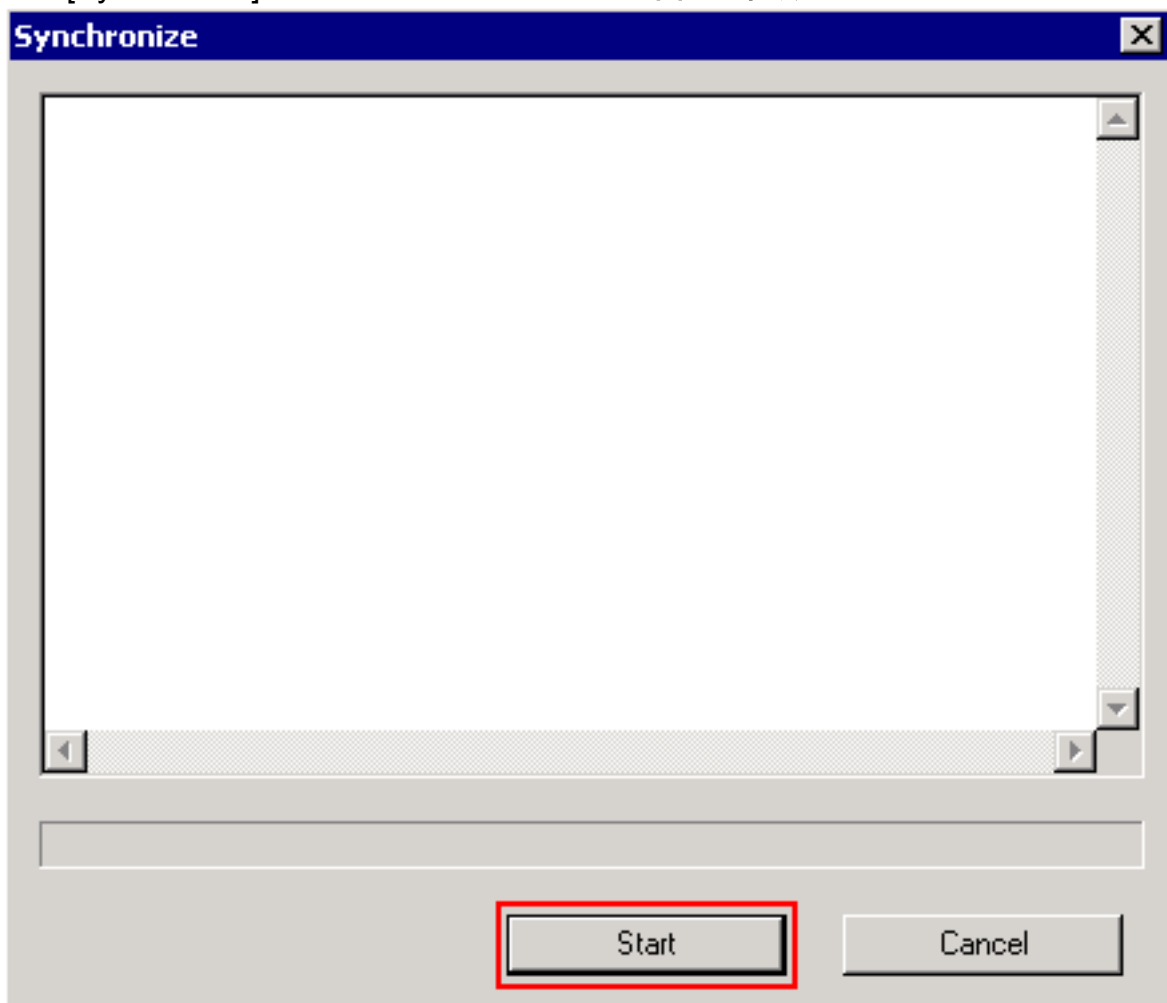


同期処理中にデータベースに変更が行われないよう、[Lockout Changes] チェックボックスをオンにします。ソースとターゲット両方のサーバ名とデータベースをドロップダウン リストから選択します。ドロップダウン リストに表示されなかったサーバを選択するには、[Add] をクリックし、[Add Server] ボックスにサーバ名を入力します。[図 5 - サーバの追加](#)



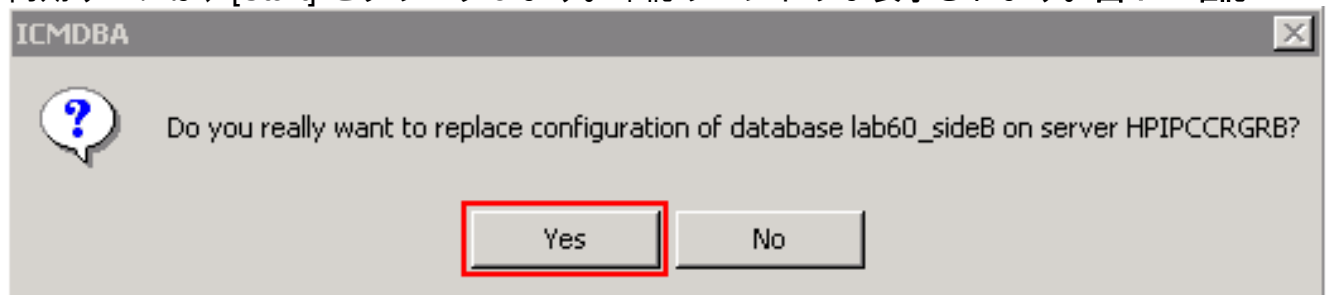
[Synchronize] をクリックしま

す。[Synchronize] ボックスが表示されます。図 6 - 同期



データを

同期するには、[Start] をクリックします。確認ウィンドウが表示されます。図 7 - 確認



設定データを置き換えるデータベース名と、データベースが存在するサーバ名を確認します。両方が正しければ、[Yes] をクリックして続行します。プロセスが完了すると、アクションが成功したことを示すメッセージが表示されます。完了するには、[OK] をクリックし、[Close] をクリックします。

3. ロガー B でロガー サービスを起動します。

[ロガー B からロガー A に設定データをコピーする](#)

ロガー B の設定データが有効で、そのデータをロガー A にコピーするには、次の手順を実行してください。

1. ロガー A のロガー サービスを停止します。
2. ロガー B の ICMDBA を起動し、ロガー からロガー A に設定データをコピーするには、次の手順を実行します。この場合、ロガー B がソースで、ロガー A がターゲットになります。サーバ、インスタンス、およびノードを指定するためのデータベースを選択します。[図 2](#) の矢印 C で示すように、メニューから [Data] > [Synchronize] を選択します。[Synchronize] ウィンドウが表示されます ([図 4](#) を参照)。同期処理中にデータベースに変更が行われないよう、[Lockout Changes] チェックボックスをオンにします。ソースとターゲット両方のサーバ名とデータベースをドロップダウン リストから選択します。ドロップダウン リストに表示されなかったサーバを選択するには、[Add] をクリックし、[Add Server] ボックスにサーバ名を入力します。([図 5](#) を参照)。[Synchronize] をクリックします。[Synchronize] ボックスが表示されます ([図 6](#) を参照)。データを同期するには、[Start] をクリックします。確認ウィンドウが表示されます ([図 7](#) 参照)。設定データを置き換えるデータベース名と、データベースが存在するサーバ名を確認します。両方が正しければ、[Yes] をクリックして続行します。プロセスが完了すると、アクションが成功したことを示すメッセージが表示されます。完了するには、[OK] をクリックし、[Close] をクリックします。
3. ロガー A でロガー サービスを開始します。

[関連情報](#)

- [Cisco ICM Logger が同期できない理由](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)